

※Windows Server 2003 Service Pack 1についての対応状況をまとめました。

■ 対象製品

- DeploymentManager 3.8 Standard Edition (以下SE)
- DeploymentManager 3.8 Enterprise Edition (以下EE)
- DeploymentManager 3.1
- DeploymentManager 3.0
- DeploymentManager 2.1

※上記以降の製品に関しては、ソフトウェア添付のユーザーズガイドをご参照ください。

■ [ダウンロードのページへ](#)

■ 起こりうる問題

「DeploymentManager3.0/3.1/3.8SE/3.8EE」

1. Webコンソールを起動しようとすると「Internet Explorerのセキュリティ強化の構成によってブロックされています」というメッセージ画面が表示され、Webコンソール画面を起動することが出来ない。

 [対応方法:「信頼済サイトへ登録する」](#)

2. Webコンソールを起動しようとすると、一瞬でウィンドウがクローズされてしまう。

 [対応方法:「ポップアップブロックを無効に設定」](#)

3. 一つのシナリオに“OSクリアインストール”と“Windows Server 2003 Service Pack 1”を設定し実行すると“Windows Server 2003 Service Pack 1”適用中に、スクリーンセーバーが起動しコンピュータのロックがされ、シャットダウン出来ない。

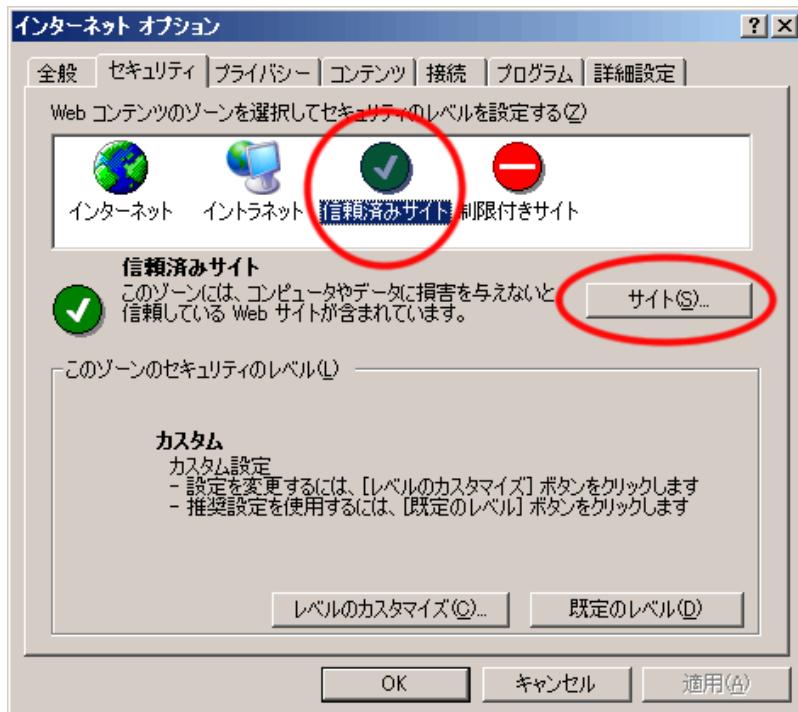
 [対応方法:「コンピュータロックされた場合は」](#)

■ 対応方法

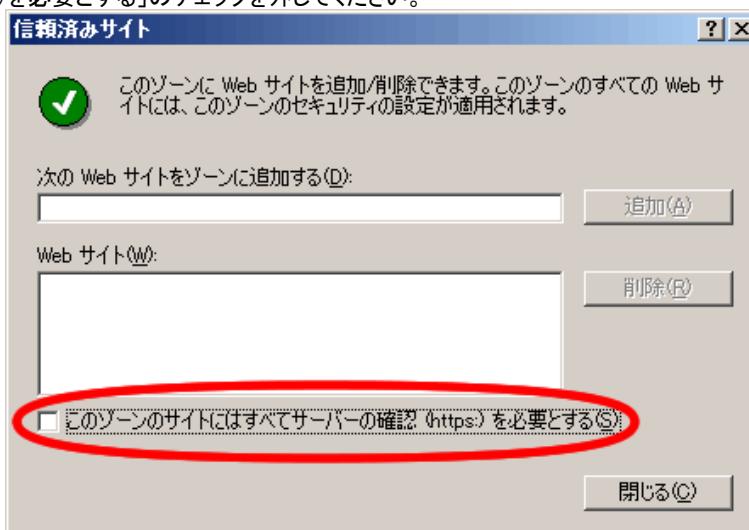
Windows Server 2003 Service Pack 1に関する問題点を回避するには下記の手順をご覧ください。

■ 信頼済サイトへの登録

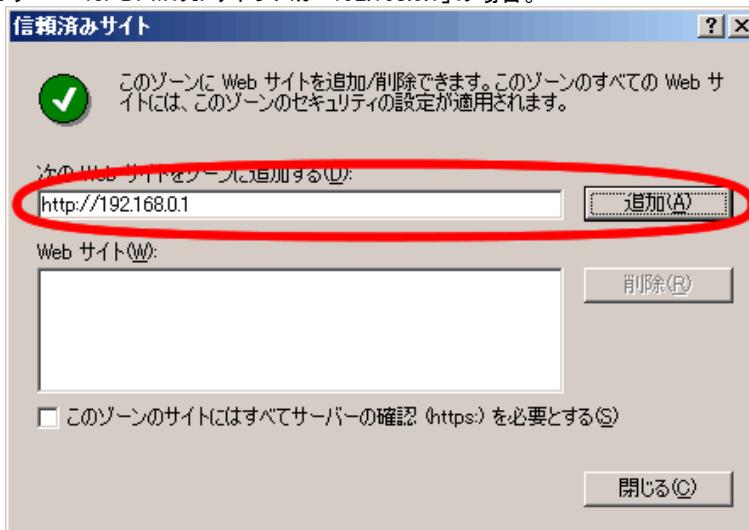
1. 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「インターネットオプション」をクリックします。
「インターネットのプロパティ」画面が表示されますので、「セキュリティ」タブをクリックし、「信頼済みサイト」にフォーカスをあてた状態で「サイト」をクリックします。



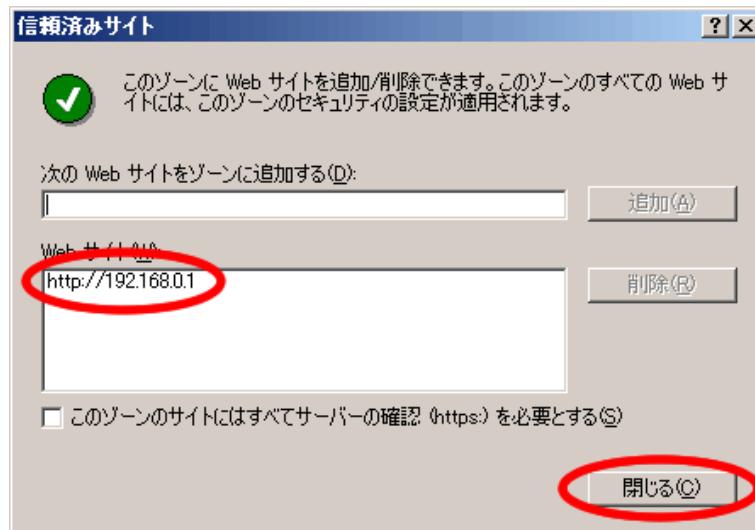
2. 「信頼済みサイト」画面が表示されますので、「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認(https:)を必要とする」のチェックを外してください。



3. 「次のWebサイトをゾーン追加する」項目にWebサーバ for DPMのIPアドレスまたはコンピュータ名を追加し「追加」をクリックします。
(例)Webサーバ for DPMのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合。

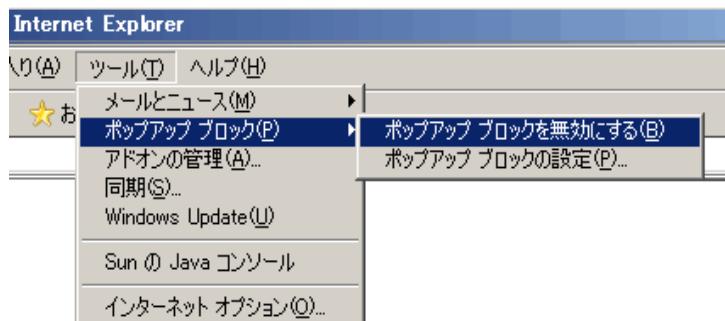


4. 「Webサイト」欄に追加されたのを確認して「閉じる」をクリックしてください。



■ ポップアップブロックを無効に設定

インターネットエクスプローラの「ツール」メニュー→「ポップアップブロック」→「ポップアップブロックを無効にする」を選択してください。



※管理サーバ、管理対象コンピュータ等の場合問題ございません。

■ コンピュータロックされた場合は

シナリオ実行中、スクリーンセーバーによるコンピュータのロックがかかった場合、コンピュータのロックを手動で解除してください。
また、コンピュータが自動的に再起動しない場合、手動で再起動してください。

■ Windows Server 2003 Service Pack 1適用環境でファイアウォールを有効にした場合

DeploymentManagerで使用するポートをあける必要があります。(下記表参照)

■ 管理サーバ

名前	ポート番号	プロトコル	DPM 3.1 以降	DPM 3.0	DPM 2.1	DPM 2.0
DeploymentManager(UDP67)	67	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP69)	69	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP137)	137	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP137)	137	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP138)	138	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP138)	138	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP139)	139	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP139)	139	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP445)	445	UDP	○	○	○	○

DeploymentManager(TCP445)	445	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP4011)	4011	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56011)	56011	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56020)	56020	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56022)	56022	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56023)	56023	TCP	○	○	○	-
DeploymentManager(TCP56024)	56024	TCP	○	○	○	-
DeploymentManager(TCP56030)	56030	TCP	○	○	-	-
DeploymentManager(UDP56040)	56040	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56050)	56050	TCP	○	○	-	-

■ Webサーバ for DPM

名前	ポート番号	プロトコル	DPM 3.1 以降	DPM 3.0	DPM 2.1	DPM 2.0
DeploymentManager(TCP8080)	8080	TCP	○	○	-	-

■ NFSサーバ

名前	ポート番号	プロトコル
DeploymentManager(TCP111)	111	TCP
DeploymentManager(UDP111)	111	UDP
DeploymentManager(TCP1048)	※1048	TCP
DeploymentManager(UDP1048)	※1048	UDP
DeploymentManager(TCP2049)	2049	TCP
DeploymentManager(UDP2049)	2049	UDP

※このポート番号は動的に変更される場合があります。もし通信に失敗する場合は、"rpcinfo -p" コマンドでmountd(NFS mount daemon)サービスが使用するポート番を確認し、そのポートを開放するようにしてください。

この方法によっても改善されない場合は、Windows ファイアウォールの設定を無効にしてください。

■ DPMで管理するコンピュータ

名前	ポート番号	プロトコル	DPM 3.1 以降	DPM 3.0	DPM 2.1	DPM 2.0
DeploymentManager(UDP137)	※137	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56000)	56000	TCP	○	○	○	○
DeploymentManager(UDP56001)	56001	UDP	○	○	○	○
DeploymentManager(TCP56010)	56010	TCP	○	○	○	○

※NetBIOSによる名前解決を行う場合のみ

※上記ポートに関する詳細につきましては、各製品のユーザーズガイドをご参照ください。